

「未来につなぐ公共施設を考える」 ワークショップだより

弥富市の未来につなぐ公共施設を 考えるワークショップを開催しています！

弥富市公共施設再配置計画の策定に向けて、市民の皆さまが真に求める行政サービスを把握するとともに、今後の公共施設のあり方について意見をいただくことを目的に、第2回ワークショップを開催しました（全3回）。

第2回では、23名の方が参加され、ファシリテーターの名古屋大学大学院の恒川准教授と研究室の学生さんと共に、前回の振り返りやグループワークを行いました。今回は、新たなアイデアを出すためにグループのメンバーの一部が入れ替わり、一つのテーマを掘り下げて議論しました。



平成31年2月9日（土）
総合社会教育センター 第2会議室
13:30~16:30

第1回ワークショップの振り返り

恒川准教授から、第1回ワークショップの振り返りがありました。第1回では、弥富市の良いところや問題点を挙げながら、公共施設を使って何が出来るかについて話し合い、今後のグループワークで取り組むテーマについて発表を行いました。第2回では、それらのテーマを各グループで一つに絞り、関係する施設や場所について分析（利用者数や築年数、近隣施設等の確認）しながら、その課題や解決策を検討することにしました。

弥富市財政の現状について

市の財政課長から、弥富市財政の現状について説明を行いました。近年の弥富市の財政状況は厳しく、平成23年度以降、実質約2億円の赤字が続いており、財政調整基金（計画的な財政運営を行うための貯金）も減少を続けています。今後、持続可能な財政運営を行っていくためには、補助金・扶助費の見直しを図るとともに、アセットマネジメントを導入し、公共施設や地域公共交通のあり方を検討していく必要があります。



グループワークの様子 ~テーマの選定、課題と解決策の検討~

第1回で決めたテーマを一つに絞り、関係する施設や場所について分析しながら、その課題や解決策について話し合いました。最後に、議論の結果について発表を行いました。

A

グループ



「保育所の再編と民営化」

南部保育所は、建物が古く立地も悪いため、ひので保育所と桜保育所への分散を検討する。

- ・ひので保育所：立地が良いため、避難拠点としての活用を検討する。
- ・桜保育所：民間委託を検討し、市の子育て支援施設の拠点とする。

B

グループ



「地域拠点の複合化」

- ・南部コミュニティセンターを複合化し人が集まるような施設を検討する。
- ・各拠点でまちづくり委員会を設置し、コミュニティを活性化させる。
- ・地域活動を活性化させる。事務局は老若男女で構成し、多世代の交流を図る。

C

グループ



「コミュニティ単位における各施設の見直し及び統合のステップアッププラン」

コミュニティを意識して、段階的に各施設の見直しを行う。

- 1：集会施設を中心に、コミュニティエリア内での施設の統合を検討する。
- 2：次世代のために、学区編成や学校のあり方を検討する。

D

グループ



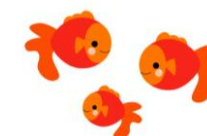
「施設の集約化・多目的化~コミュニティが大切~」

北側と南側でそれぞれ拠点となるような施設を検討する。

- 北側：①不要施設の売却も視野に入れる。
②空き施設の高度利用を考える。
- 南側：①学区は崩さない。
②集約化後のアクセス問題を考慮。

次回のワークショップのご案内

「第3回 未来につなぐ公共施設を考えるワークショップ」
日時：平成31年3月2日（土） 午後1時30分~
場所：総合社会教育センター 2階 第2会議室



<「未来につなぐ公共施設を考える」ワークショップだより 第2号> 平成31年2月発行

【お問い合わせ・連絡先】

弥富市 総務部 秘書企画課 TEL：0567-65-1111 FAX：0567-52-3276